

ガンマナイフ治療最前線情報

平成28年3月発行 第39号

古典的三叉神経痛に対する放射線手術の超長期的予後：

Régis J¹, Tuleasca C, Resseguier N, Carron R, Donnet A, Yomo S, Gaudart J, Levivier M.
The Very Long-Term Outcome of Radiosurgery for Classical Trigeminal
Neuralgia.
Stereotact Funct Neurosurg. 2016 Feb 17;94(1):24-32. [Epub ahead of print]

<背景>放射線手術は難治性三叉神経痛(TN)に対する神経外科的選択肢の一つである。

<目的>許容的な短期/中期的予後はこれまでに報告されているが、長期的な結果ははっきりと記載されていない。

<方法>我々は古典的 TN に対して放射線手術を施行し、その後少なくとも7年(中央値=9.9, 範囲=7-14.5)にわたって経過観察した130人における長期結果を報告する。

<結果>年齢中央値は66.5歳であった。

122人(93.8%)の全てで放射線手術治療後(遅延中央値=15日)に疼痛消失(BNIクラスI-IIIa)した。

3,5,7年および10年時での内服無しでの疼痛消失の確率はそれぞれ77.9,73.8,68および51.5%であった。

56人(45.9%)では初期に疼痛消失した後に再燃を経験した(遅延中央値=73.1ヶ月)。しかしながら10年時では130人の内、67.7%で新たな治療が必要とされるような再燃はなかった(BNIクラスI-IIIa)。

新たな知覚鈍麻の発生率は20.8%(発生までの中央値=12ヶ月)で、1人(0.8%)のみにおいて非常に高度な知覚鈍麻が報告された。

<結論>長期結果は(過去に報告した)我々の全般的な報告例と同等なものであり、長期間にわたる疼痛緩和が高率で、放射線手術の重大な合併症がまれであることは、

古典的、薬剤抵抗性 TN に対する初期ならび/またはセカンドラインの治療として推奨されるかもしれない。

頭蓋内血管周皮腫の治療におけるガンマナイフ放射線手術の方針

Spina A, Boari N, Gagliardi F, Donofrio CA, Franzin A, Mortini P.

The current role of Gamma Knife radiosurgery in the management of intracranial haemangiopericytoma.

Acta Neurochir (Wien). 2016 Feb 18. [Epub ahead of print]

<背景>血管周皮腫(HPCs)は局所再発や遠隔転移をきたす傾向のある、侵襲的な性質をもったまれな腫瘍と特徴づけられている。

WHO グレードⅡおよびグレードⅢの腫瘍は異なる無再発生存率と全生存率を示す。腫瘍全摘出がいまだに治療選択として考えられている。

摘出の程度に関わらず術後放射線治療が治療方針のオプションとして存在している。この考えに基づいて、ガンマナイフ放射線手術は初期治療として、または残存ないし再発腫瘍に対する追加治療として導入されてきた。

<方法>頭蓋内 HPCs の治療に対するガンマナイフ放射線手術、サイバーナイフおよび直線加速器(LINAC)の臨床研究報告について PubMed、Web of Science ならびに Google Scholar において体系的な調査を行った。

<結果>頭蓋内 HPCs に対するガンマナイフ放射線手術の効果について注目していた 14 の研究が含まれていた。4 研究がサイバーナイフおよび LINAC のデータを報告していた。

計 208 人の 366 腫瘍が報告されていた。

適切な文献での患者の特徴、放射線手術治療の特徴ならびに経過観察データが注意深く見直された。

<結論>ガンマナイフ放射線手術ならびに他の放射線手術治療は HPCs の治療において実現可能で有効な治療である。

腫瘍制御と生存率はこれまで報告された放射線治療のものと同等であった。

今後の研究は HPCs の治療におけるガンマナイフ放射線手術の適格な法則を明らかにすることに注目すべきである。

~~~~~メモ~~~~~

もみのき病院 高知ガンマナイフセンター

〒780-0952 高知県高知市塚ノ原6-1

TEL : (088) 840-2222

FAX : (088) 840-1001

E-mail : mail@mominoki-hp.or.jp

URL: <http://mominoki-hp.or.jp/>

担当医 : 森木、山口      事務担当 : 蒲原